

環境報告書 2020

目 次

環境方針	2
事業活動に伴う環境負荷	3
2019年度目標と活動実績	4
省エネルギー化の取り組み	5
リサイクル化の取り組み	5
グリーン調達の取り組み	6
環境教育の取り組み	6
地域貢献活動	7
クリーン作戦	7
仲道郁代氏ピアノリサイタル	7
イルミネーション	8
わくわく体験塾	9
学術支援活動	9
今後の取り組み	10
環境会計	11
お問い合わせ先	12



ユニオンツール(株)

環境方針

基本理念

自然を愛し、人を愛する企業活動を通じて、豊かな地球環境づくりに貢献する。

基本方針

当社長岡工場及び見附工場（以下当社工場という）は、ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、以下の方針に基づく環境保全活動を行うことにより、地域及び地球環境と企業活動の調和に努める。

1. 当社工場の活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で目的、目標を定めて環境保全活動を実施する。
2. 環境目的、目標を定期的に見直すことにより環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図る。
3. 環境関連法規、条例及び当社工場が同意するその他利害関係者からの要求事項を順守し、更に可能な範囲で自主基準を定め、環境汚染の予防に努める。
4. 当社工場の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の中で、次の項目を重要テーマとして取り組む。
 - 1) 省エネルギー化の推進
 - 2) グリーン調達への推進
 - 3) リサイクル化の推進
 - 4) 省資源化の推進
5. 環境方針は、環境マネジメントシステムにより実施、維持すると共に経営者が当社工場で働く全ての人に周知徹底する。
6. 環境方針は、社外に公開する。

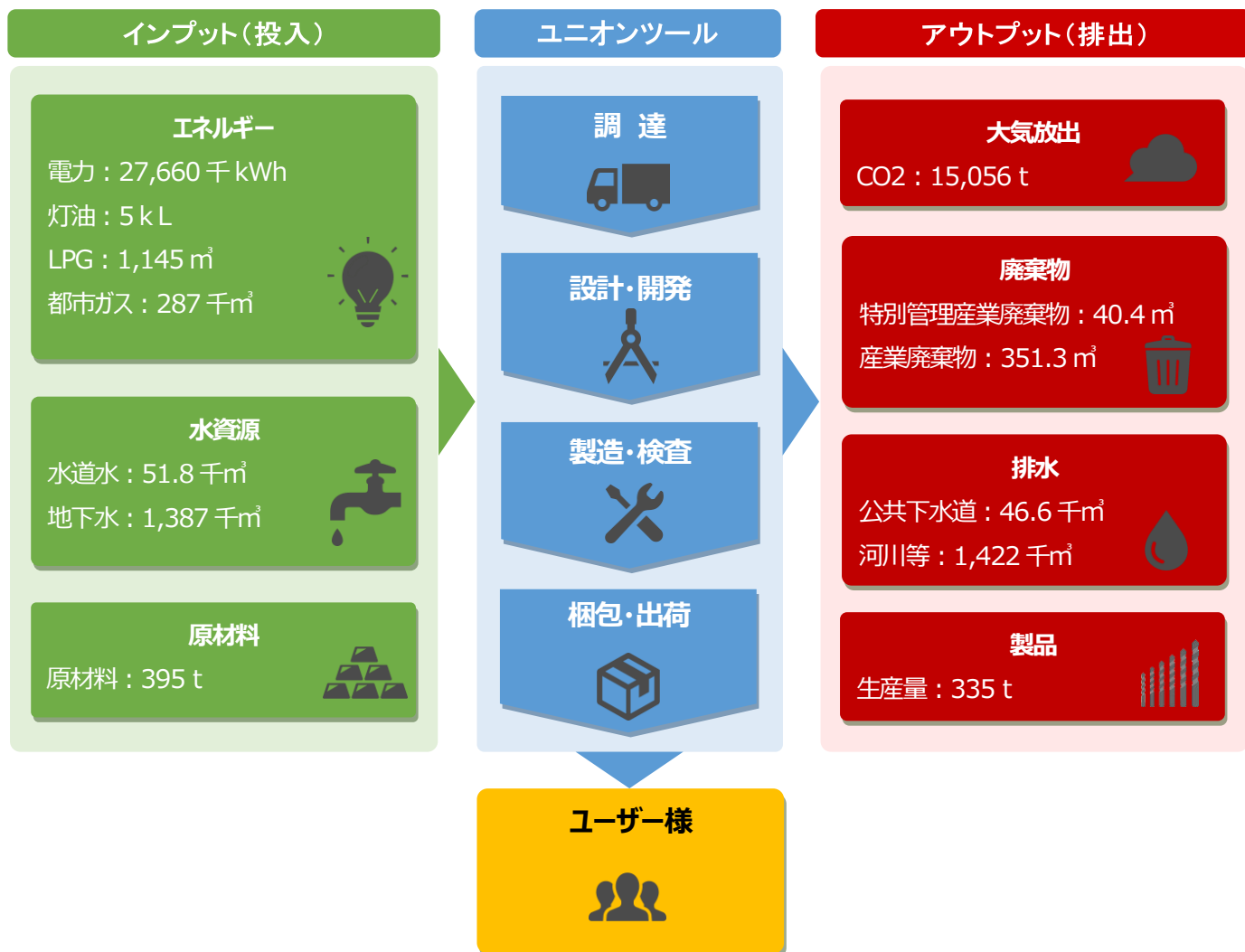
2014年 2月 25日
代表取締役社長 大平 博



◆ 事業活動に伴う環境負荷

当社では、事業活動に伴って発生する環境負荷をインプット～アウトプットにわたって把握・監視することにより、効果的な環境負荷低減活動が行えるよう努めております。

インプットの中で注目されるエネルギーの使用量に関しては、特に CO2 の排出割合が全体の 9 割以上を占める電力について重点を置き、積極的に省エネ活動を行うことにより CO2 排出量の削減を進めております。



☆各数値の集計期間は 2019. 1～2019. 12、数値は長岡工場・見附工場の合算となっております。

※1 CO2 排出量:「エネルギー使用の合理化等に関する法律施行規則」に基づき換算

※2 産業廃棄物量:「産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について」
(環廃産発基 061227006 号)



◆ 2019 年度目標と活動実績

2019 年度も環境方針の重要テーマである省エネルギー化、リサイクル化、省資源化に基づき、目標を立て活動を行いました。

省エネルギー化については前年度の使用量の 1%削減を目標として取り組みを進め、長岡工場、見附工場共に目標を達成することができました。

リサイクル化については製品ケースの再使用を推進しております。周囲の状況の変化に伴った効率化・採算性を考慮した形で取り組みの手法を検討しながら実施しております。

省資源化については製造設備の開発により新たな省資源工具・長寿命工具の開発・改良を進め、より多くのお客さまより認めていただける製品となるよう追求しております。

2019 年度目標と活動実績

項目	推進内容	2019 年度目標	2019 年度実績	評価	頁
省エネルギー化	2019 年度までに 単位生産エネルギー使用量（※1）を 2014 年度比 5%削減	2018 年度エネルギー使用量の 1%相当を改善により削減	【長岡】 2018 年度エネルギー使用量の 4.5%削減	◎	5
			【見附】 2018 年度エネルギー使用量の 1.3%削減	○	5
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	ドリルケース回収量の 調査及び管理	回収目標に対して 90%回収	△	5
	エンドミルケース再使用の推進	エンドミルケース回収量の 調査及び管理	回収目標に対して 136%回収	◎	-
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 3 件	長寿命工具の開発 3 件	○	-
		工具用膜の開発 2 件	工具用膜の開発 2 件	○	-

【評価】 ◎：目標を大幅に達成 ○：目標を達成 △：目標をほぼ達成 ×：目標未達成

※1：「単位生産エネルギー使用量（kL/千本）」＝「原油換算エネルギー使用量（kL）」÷「切削工具の生産本数（千本）」

◆ 省エネルギー化の取り組み

2019 年度は各工場とも「2018 年度エネルギー使用量の 1%削減」を目標に設定し、省エネ活動に取り組んできました。長岡工場では対策により 2018 年度使用量の 4.50%に値するエネルギー量を削減、見附工場でも 1.38%に値するエネルギー量を削減し、ともに目標を達成することができました。

工場付帯設備としては 2014 年から照明の LED 化を開始しており、長岡工場では 2020 年の完了に向けて各フロアの優先度を見極めながら、計画的に取り組んでいます。2019 年までに LED 化の約 80%が完了しており、製造現場以外の事務所や食堂においても LED 照明へ切り替わりました。

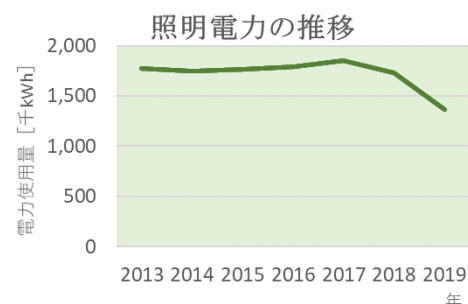
エネルギー使用削減においても 2017 年からより顕著に効果が表れており、ピーク時よりも 20%ほど減少しております。

さらに、2019 年度も製造メーカーとして常に課題となる生産性の向上について、技術部門では高効率の設備開発にも力を入れ取り組み、省エネルギー化に繋がっています。

今後も幅広い視野のもと、効率の良い生産活動が継続して行えるよう努めてまいります。



▲LED に変更した食堂の照明



◆ リサイクル化の取り組み

ドリルケースの回収及びリサイクル化を行っております。

元々は社内で行っていたリサイクル業務ですが、年々環境活動の中で重要な役割となり、専門的な活動として位置付ける必要が出てきたため、2016 年より回収・リサイクル業務を一括して業者へ委託し運用をしています。

委託を開始すると社内で行っていた状況とは異なって来たこともあり、2019 年度は「ドリルケース回収量の調査及び管理」を目標とし、リサイクル委託業者の処理能力把握とこれらに応じた目標設定、推移監視ということを実施項目に活動を行いました。年間では目標値に対して達成率 90%に留まり、未達成に終わってしまいましたが、次の活動につながる現状把握ができた取り組みになりました。

活動の一環として社内では関係部署で月に 1 度、定例会を開催し推移監視や情報共有を行っています。単純な数字だけでは表れない課題を明らかにし、一つひとつ改善に繋がるよう取り組みます。

リサイクル業務は環境の取り組みとして資源の有効活用という側面はもちろんのこと、お客さまへ高品質でよりお求めやすく短納期で製品をお届けするための活動という側面も持ち合わせていると考えております。今後も重要業務の 1 つとし、目標を定め取り組んでまいります。

お客さまにはこの取り組みにご理解いただき、ドリルケースがより多くライフサイクルを重ねていくためにも、できるだけケースをきれいな状態でご使用していただくよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

トピックス

PCB ドリルの使用時に用いることがあるドリルリングというものがあります。ドリルリングを使用後、不要になったものについて福祉施設に提供し、リングアートとして素敵に蘇らせて頂きました。



▲ドリルケース



▲リングアート

◆ グリーン調達取り組み

地球環境保全と環境負荷低減に配慮した製品をお客さまに提供していくためには、環境に配慮した材料・部品等を積極的に採用していく必要があります。当社では欧州の RoHS 指令をはじめ、世界的に拡大していく化学物質関連の法規制に対応し、お客さまが安心して使用できる製品を提供できるよう、グリーン調達ガイドラインを定め、それに基づく調達活動を行っております。

また、製品の有害物質情報について技術設計部門や資材購入担当部門、調達先が連携して、切削工具と直線運動軸受の全材料、部品、梱包材等における環境関連有害物質の含有状況を調査し明確にしております。

今後も製造から使用、そして廃棄まで、製品のライフサイクル全体を通じてより環境への負荷が少ない物づくりを目指してまいります。
皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



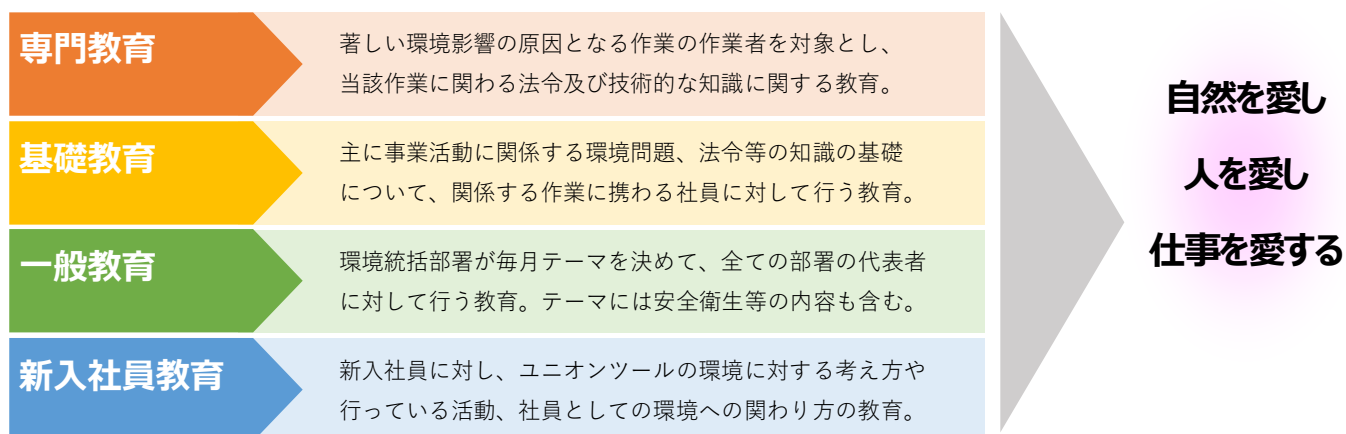
◆ 環境教育の取り組み

当社工場では環境統括部署が主体となり、環境に関する意識高揚と知識の習得を目的として社員に継続的に教育を行っています。

教育体系は目的に合わせて4つあり、入社直後の「新入社員教育」に始まり、毎月さまざまなテーマで実施される「一般教育」、事業活動に関連するテーマを掘り下げる「基礎教育」、更なる専門性へと導く「専門教育」と、内容もレベルアップしながら教育を体系的に進めています。

「一般教育」では参加者にアンケートを実施し、テーマ選定、講師のレベルアップ等の参考にし、ブラッシュアップを図っています。

これらの環境教育は、“自然を愛し、人を愛し、仕事を愛する”という社風を守り続ける人材の育成につながっています。



◆ 地域貢献活動

● クリーン作戦

当社では長岡工場と見附工場において社員親睦会が主催する「クリーン作戦」を実施しています。社員とその家族が地域へ日頃の感謝の気持ちを込めて、工場周辺を美化する目的でゴミ拾いや草刈りを行う活動です。2019 年度も大勢の方々に参加していただき、工場周辺はきれいな環境が保たれております。この活動は個人個人の環境美化に対する意識の向上にも繋がっています。



▲長岡工場の参加者



▲長岡工場周辺の作業風景



▲見附工場の参加者

● 仲道郁代氏ピアノコンサート

当社は企業における文化芸術振興活動支援（メセナ事業）の一環として、当社がオフィシャルスポンサーを務めるピアニスト仲道郁代氏を招き、ピアノコンサートを開催しております。

当社が主力工場を置く新潟県長岡市では、2002 年から毎年定期的に開催しており、2019 年で 22 回目を迎えました。2019 年は日本を代表する奏者である、ピアニストの仲道郁代とチェリストの堤剛によるデュオ・リサイタルを開催し豊かな音色を披露していただきました。また、同年 3 月には NHK 交響楽団との特別演奏会を開催し、オーケストラの荘厳なハーモニーと魅力あふれるピアノのコラボレーションをお届けいたしました。

当社は NHK 交響楽団・東京フィルハーモニー交響楽団・新日本フィルハーモニー交響楽団の賛助会員として団体の音楽活動を応援させて頂いております。

仲道郁代オフィシャルHP：
<http://www.ikuyo-nakamichi.com/>
長岡リリックホールHP：
<http://www.nagaoka-caf.or.jp/>



◆ 地域貢献活動

● イルミネーション

長岡工場では毎年クリスマスの時期にあわせてデザインから装飾まで社員が行い、イルミネーションを点灯させています。

2019年で2回目となるイルミネーション点灯式は同年12月2日に行われました。当日は天候に恵まれず点灯式はショールーム内での開催となりましたが、多くの社員とゆにおんの杜 南陽保育園の子どもたちに参加していただき賑やかな点灯式になりました。また、サンタさんの登場により子どもたちは大喜び。令和初のクリスマスは楽しい思い出になったことでしょう。

イルミネーションの見どころとして、2019年は毎年恒例の大きなツリー、トンネル、花火、当社製品である心拍センサのキャラクターに加え、新たにイルミネーションエリアを拡大し、点灯場所へ続く並木の電飾も行われました。また、大きなツリーは電飾のカラーを7色へと増やし、より一層魅力的なツリーへと生まれ変わりました。令和元年を記念し2019年限定で設置した令和オブジェも、フォトスポットとして多くの方々に楽しんでいただけたことと思います。

点灯期間中は、昨年同様、暖かい室内からもイルミネーションを楽しんでいただけるようにお茶とお菓子をご用意しショールームを一般に開放いたしました。

社員を癒す目的で1995年から始めたこのイルミネーションは2019年で25回目を迎え、一般の方々からも、暖かいお手紙やメッセージを頂くこともあります。装飾には環境に配慮しLED（約40,000個）を使用しています。



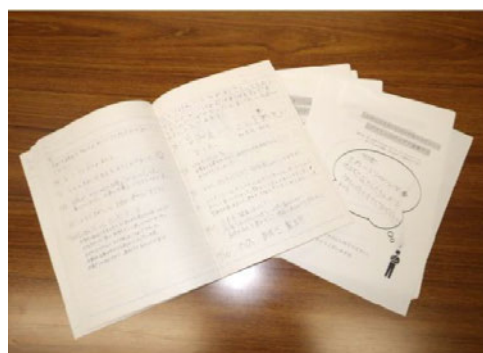
▲ イルミネーションの全景



▲ 点灯式の参加者



▲ サンタからのプレゼント



▲ お客さまからのメッセージ

◆ 地域貢献活動

● わくわく体験塾

見附工場では、見附市と協力し夏休み中の小学生向けに「わくわく体験塾」を開催しました。見附市は学校や学年・学級の枠を超えた交流を通じ、お互いに協力し相手を思いやる心を育むとともに児童生徒の健全育成を図ることを目的として活動しており、見附工場もこの活動に賛同しております。

エンドミル製造工程の見学では工場の大さに驚いていました。また、当社独自のコーティング膜の硬さに悪戦苦闘しながらコーティング膜を金やすりで削る体験、そしてコーティングを施したオリジナルキーホルダー作りに挑戦し楽しいひと時を過ごして頂きました。

毎年、わくわく体験塾での子供たちの好奇心には私たち社員も刺激を受けています。ユニオンツールはこれからも子供たちに当社の技術を楽しく紹介してまいります。



▲ わくわく体験塾の参加者



▲ コーティングの硬さ比べ体験

● 学術支援活動

公益財団法人

ユニオンツール育英奨学会

当社の主力工場である長岡工場を置く新潟県において 2002 年に育英奨学会が設立されました。奨学金は新潟県内の理工系大学等に在学中の学生を対象に、成績優秀であるが経済的理由で学業を続けることが困難である学生に対して育英奨学金を支給し、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的としており、会社としてその事業運営に協力しています。

また、県内の理工系大学院等の研究室を対象に先端技術の研究費を助成することによって科学技術の振興を図り、産業発展に寄与することを目的として科学技術研究費助成金制度にも協力しています。

※なお、この活動は「公益財団法人ユニオンツール育英奨学会」の運営で行っています。

公益財団法人ユニオンツール育英奨学会HP：<http://www.uniontool.co.jp/scholarship/index.html>

◆ 今後の取り組み

2019年度の目的・目標のうち、省エネルギー化については2019年度で1つの中長期期間を終え、改めて2019年度をベースとし、5ヶ年で5%の単位生産エネルギー使用量削減を継続的な目標として取り組みます。

リサイクル化については引き続き、ドリルケース回収量の調査及び管理を行い、明らかになる課題について適宜対応を行います。

省資源化の課題については、工具の長寿命・高効率化をさらに進め、お客さまの求める品質を追及し、同時に環境へも配慮した製品の開発を積極的に進めてまいります。

2020年度の取り組み

項目	推進内容	2020年度目標
省エネルギー化	2024年度までに単位生産エネルギー使用量（※1）を2019年度比 5%改善	2019年度エネルギー使用量の1%相当を改善により削減
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	ドリルケース回収量の調査及び管理
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 3件
		工具用コーティング技術の開発 2件

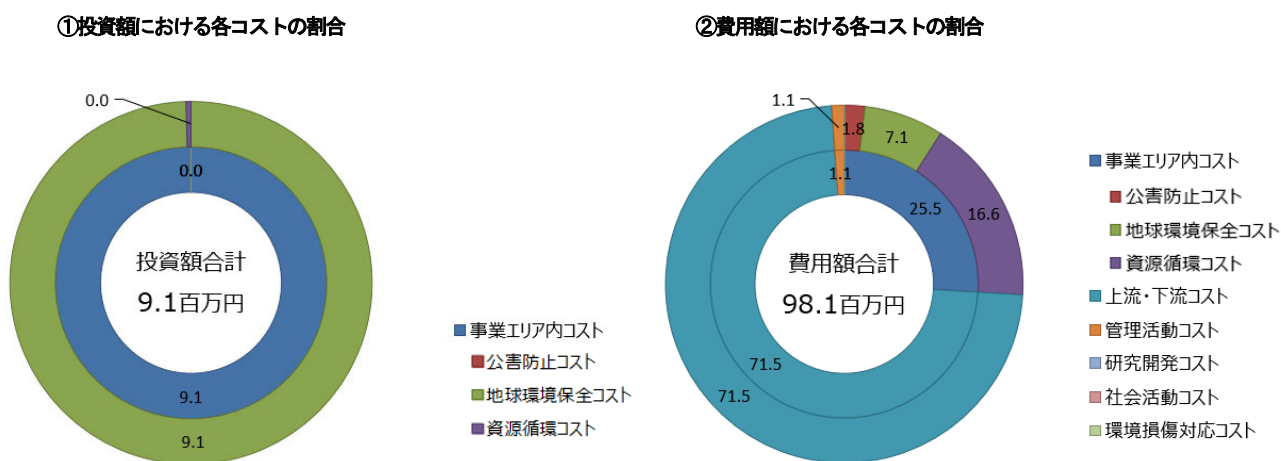
※1：「単位生産エネルギー使用量（kL/千本）」＝「原油換算エネルギー使用量（kL）」÷「切削工具の生産本数（千本）」

◆ 環境会計

2019 年度 環境会計集計結果

- ・対象範囲：ユニオンツール株式会社 長岡工場・見附工場
- ・対象期間：2019 年度（2019 年 1 月～2019 年 12 月）

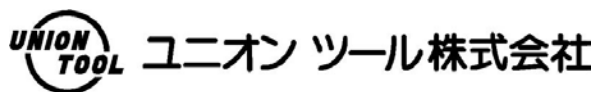
□環境保全コスト（単位：百万円）



※投資額の減価償却の方法は、投資の効果が発現する期間を算定することが困難であるため、投資年度に全額償却することとしています。（また、自社製設備導入の際の一部部品購入等に関する投資額は計上しておりません。）

□環境保全対策に伴う経済効果（単位：百万円）

項目	金額	主な取り組み内容及びその効果
収益	100.1	リサイクルに伴う有価物の売却益等
費用削減	22.6	ドリルケース再利用による新品購入費の削減等
合計	122.7	



【本社】

〒140-0013
東京都品川区南大井 6-17-1
TEL 03 (5493) 1001
FAX 03 (5493) 1002

環境報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【長岡工場】

〒940-1104
新潟県長岡市撰田屋町字外川 2706-6
TEL 0258 (22) 2620
FAX 0258 (22) 0045
長岡総務課 担当：米山
E-Mail yoneyamao@uniontool.co.jp

発行年月 2020 年 5 月
次回発行予定 2021 年 5 月

※本報告書は 2019 年度（2019 年 1 月～2019 年 12 月）のデータを中心にまとめています。

※一部のデータに関して、長岡工場及び見附工場の値が合算されているものがあります。

また最新情報の提供のため、一部の内容に関しては、2019 年 12 月以降のものも含まれている場合があります。